

めざす児童像

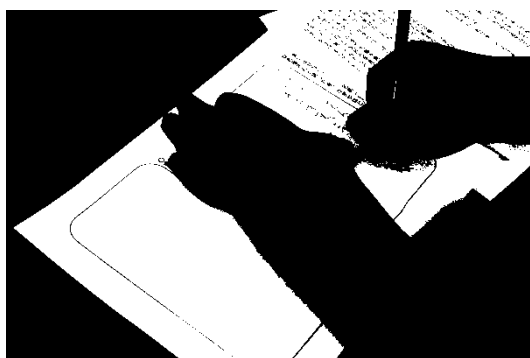
自分の考えや意見をもつことができ、  
友達の意見や立場を尊重することができる児童

## 資料名 「言い出せなくて」

めあて

・正しいと思ったことは、勇気をもって行おうとする態度を養う。

◎学習活動の様子



本時では、日常よくある「あだな」について扱っている。日常の何気ない会話で、二人の友達から「おかず」と呼ばれるようになったことで、「あだ名で呼ぶのはやめてほしい。」と言えなかった主人公が、勇気を出して言い出すまでの心の葛藤について共感し、勇気を出して「ぼくのことを『おかず』と呼ぶのはやめて。」と言った後の、かずやの安心感を考えさせ、正しいと思ったことは、勇気をもって行おうとする態度を養っていく。ねらいに迫るための指導の工夫として、本文に書かれていない場面の主人公の気持ちを発問した。児童がかずやの葛藤を想像したり、「もし自分だったら…」と考えたりできるよう工夫した。また、主人公の状況を正確に踏まえて、児童に考えさせる工夫を行った。主人公の状態を黒板にイラストや文字で掲示し、主人公が苦しみ、なかなか実行に移せない様子を視覚的に捉えることができるよう工夫した。



成果

- ・本文中にない場面での主人公の気持ちを想像させることで、主人公が葛藤していることを児童が考えることができた
- ・「もし自分だったら…」と声かけにより、主人公に共感しながら考えることができた

課題

- ・児童が多様な意見に触れるために交流を行う際は、話型の提示等の支援を行っていく必要がある
- ・教員と児童の会話が多かったため、児童間で意見を出し合うような支援を行う